

2010年10月黒島における昆虫記録

金井 賢一・守山 泰司・中峯 浩司

鹿児島県立博物館
KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM
KAGOSHIMA, JAPAN

2010年10月黒島における昆虫記録

金井賢一*, 守山泰司**, 中峯浩司**

The recorded insects on Kuro-shima (Osumi Islands) in October of 2010

Kenichi KANAI*, Taiji MORIYAMA**, Koji NAKAMINE**

はじめに

2010年10月9日～10日にかけて、黒島においてタイワンツバメシジミおよびヒメシルビアシジミを重点的な対象とし、昆虫類全般を収集・記録した。夜間の天候が優れず、灯火採集はできなかった。

三島村では2006年より昆虫採集禁止条例が施行され、記録の蓄積が困難な状態にある。そこで、採集された昆虫を基礎的なデータとして利用できるように、ここに示す。なお、今回の調査のために配慮していただいた三島村に深く感謝すると共に、発表が遅れたことをお詫びする。

1 調査の日程

10月9日（土）7：40枕崎港発フェリーみしま
→10：30黒島大里港入港～上中里～横岳山遊
歩道～片泊～塩手鼻～南部林道～大里
10月10日（日）8：30大里～上中里・坊主ヶ瀬～
片泊～大里→14：00大里発フェリーみしま
→16：45枕崎港着
島内の移動はレンタカーにて行った。

2 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事
守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者、鹿児島
昆虫同好会会員
守山小百合：鹿児島県立博物館外部協力者、鹿児
島昆虫同好会会員
中峯浩司：元鹿児島県立博物館学芸主事、鹿児島
昆虫同好会会員

3 調査の結果

採集者は金井：K, 守山：M, 中峯：Nと標記する。

チョウ目 LEPIDOPTERA

アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
大里（10月10日 K 1 ♀, M 1 ♂ 1 ♀, N 1 ♀）
少ない。
- ・アゲハ *Papilio xuthus*
大里（10月10日 K 1 ♂, M 1 ♂, N 1 ♂）, 1
周道路南側（10月10日 M 4 齢幼虫 2 頭：カラ
スザンショウ）, 塩手鼻（10月10日 K 1 ♂）, 片
泊（10月10日 K 1 幼虫→11月26日羽化）
少ない。
- ・キアゲ *Papilio machaon*
片泊（10月9日 M 1 頭目撃, 終齢幼虫 4 頭,
ボタンボウフウ）, 塩手鼻（10月9日 M 終齢幼
虫 6 頭 ボタンボウフウ, K 複数幼虫→寄生また
は発育不全で成虫にならず）
幼虫は多数見られた。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
片泊（10月10日 M 1 ♀ 目撃）
少なかった。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
片泊（10月9日 M 1 ♂ 1 ♀, N 目撃するも少な
い）

シロチョウ科 Pieridae

- ・キタキチョウ *Eurema mandarina*
塩手鼻（10月9日 N 1 ♂）, 大里（10月10日
K 1 ♂, M 2 ♂ 3 ♀, N 2 ♂ 1 ♀）, 中里（10月
10日 K 1 ♂）, 片泊（10月10日 K 1 ♀, M 1 ♀,
N 1 ♂）
各地に普通。
- ・モンキチョ *Colias erate*
大里（10月10日 K 1 ♂, M 1 ♂, N 1 ♂）

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

** 鹿児島県立博物館外部協力者

少ない。

- ・ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*
大里 (10月10日 K 1 ♀, M 1 ♂ 1 ♀ ギンモン)
迷蝶。少ない。

シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ウラギンシジミ *Curetis acuta*
大里 (10月10日 M 1 ♀ 目撃), 片泊 (10月10日 K 1 ♂)
少ない。
- ・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*
上中里 (10月10日 M 1 ♂ 1 ♀), 片泊 (10月10日 K 1 ♀)
- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*
片泊 (10月9日 K 3 ♂, M 5 ♂ 5 ♀), 塩手鼻 (10月9日 N 1 ♂), 大里 (10月10日 K 2 ♂, N 1 ♀)
各地に普通。
- ・ツバメシジミ *Everes argiades*
坊主瀬 (10月10日 M 1 ♀), 上中里 (10月10日 M 1 ♀)
- ・ルリシジミ *Celastrina argiolus*
塩手鼻 (10月9日 K 2 ♀, N 2 ♀), 片泊 (10月10日 K 1 ♀)
塩手鼻～片泊では普通に見られた。
- ・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*
片泊 (10月9日 K 1 ♀, M 1 ♂ 1 ♀, N 1 ♀), 大里 (10月10日 K 1 ♀)
塩手鼻～片泊や, 集落付近に普通。
- ・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*
片泊 (10月9日 M 1 ♂ 1 ♀ N 1 ♀, 10月10日 K 1 ♀), 塩手鼻 (10月9日 N 1 ♂), 大里 (10月10日 N 1 ♂)
少ない。
- ・オジロシジ *Euchrysops anejus*
片泊 (10月9日 M 3 ♂ 5 ♀, 10月10日 K 2 ♂)
家庭菜園のインゲンで発生? 産卵中の♀確認
- ・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*
片泊 (10月9日 N 1 ♀, 10月10日 M 1 ♀, N 1 ♂)
片泊以外では見られず, 少なかった。公民館前のソテツでは, 芽の部分に多数の卵殻が見られたが, 幼虫は発見できなかった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

大里 (10月10日 M 1 ♂ 1 ♀, N 1 ♂), 片泊 (10月10日 K 1 ♀)

少ない。

- ・アカタテハ *Vanessa indica*
大里 (10月10日 M 1 ♂ 1 ♀, N 1 ♀), 片泊 (10月10日 K 1 ♀)
少ない。幼虫が作る巣を食草に見つけられなかった。
- ・ルリタテハ *Kaniska canace*
片泊 (10月9日 N 1 ♂, 10月10日 K 終齢幼虫 2頭→寄生されていた, M 1 ♀, 終齢幼虫 5頭)
ハマサルトリイバラに幼虫がついていた。



- ・リュウキュウムラサキ *Hypolimnua bolina*
片泊 (10月9日 M 1 ♀ 目撃フィリピン型?, 10月10日 K 1 ♂ フィリピン型), 大里 (10月10日 N 1 ♂ フィリピン型)
迷蝶。少ない。
- ・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*
大里 (10月10日 M 1 ♂ 1 ♀), 片泊 (10月9日 N 1 ♂), 塩手鼻 (10月9日 K 1 ♀)
少ない。
- ・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*
片泊 (10月9日 K 1 ♀, M 1 ♂ 1 ♀)
各地に普通に見られた。
- ・ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*
大里 (10月10日 M 1 ♂, N 2 ♂ 秋型)
少ない。新鮮な秋型であった。
- ・クロコノマチョウ *Melanitis phedima*
大里 (10月10日 N 1 ♀ 秋型)
少ない。
- ・アサギマダラ *Parantica sita*
中里林道 (10月10日 N 1 ♂)
少ない。
- ・カバマダラ *Danaus chrysippus*

片泊 (10月9日 K 2♂, N 1♂, 10月10日 K 1♂ 2♀, M 1♂ 1♀, N 1♂), 大里 (10月10日 K 1♀)

普通に見られた。

- ・スジグロカバマダラ *Danaus genutia*

片泊 (10月9日 K 1♂)

センダングサで吸蜜中の個体であった。迷蝶であろう。

セセリチョウ科 Hesperiiidae

- ・クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

片泊 (10月9日 N 1♂ 1♀, 10月10日 M 1♂ 1♀), 大里 (10月10日 M 1 齢幼虫 1頭 アオノクマタケラン)

塩手鼻～片泊では普通に見られた。

- ・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

片泊 (10月9日 K 1 ex., 10月10日 M 1♂)

少ない。

- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

片泊 (10月9日 K 1 ex.), 塩手鼻 (10月9日 K 2 exs.), 大里 (10月10日 M 1♂ 1♀)

各地に多い。

スカシバガ科 Sesiidae

- ・セスジスカシバ *Pennisetia contracta*

南部道路 (10月9日 N 1 ex.)

カラスザンショウの葉に止まっているところを採集した。日本産蛾類大図鑑 (井上, 1982) や琉球列島産昆虫目録 (屋富祖ら, 2002) では、本種が黒島に分布することが記述されていない。

スズメガ科 Sphingidae

- ・ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta*

大里 (10月10日 K 1♂)

ヤガ科 Noctuidae

- ・キマエコノハ *Eudocima salaminia*

片泊 (10月9日 M 1♂)

トンボ目 Odonata

イトトンボ科 Coenagrionidae

- ・コフキヒメイトトンボ *Agriocnemis femina*

大里 (10月10日 N 2♂ 1♀)

ヘリポートに隣接するタイモ畑で得られた。

- ・アジアイトトンボ *Ischnura asiatica*

大里 (10月10日 N 1♂)

ヘリポートに隣接するタイモ畑で得られた。

トンボ科 Libellulidae

- ・タイワンシオカラトンボ *Orthetrum glaucum*

中里 (10月10日 N 1♀)

中里から片泊方面に向かう道路脇の、水がしたり落ちる場所で得た。羽化したばかりで、体は非常に柔らかかった。

- ・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

片泊 (10月10日 N 1♀)

飛翔中を捕獲した。各地に普通。

- ・ベニトンボ *Trithemis aurora*

塩手鼻 (10月9日 N 2♂ 3♀)

展望台の近くで、草に静止中または飛翔中の個体を得た。付近に水辺は見あたらず、他の場所でも見なかった。

カマキリ目 MANTODAE

ヒメカマキリ科 Acromantidae

- ・ヒメカマキリ *Acromantis japonica*

片泊 (10月10日 K 1 ex.)

バナナトラップから落ちてきた。

バッタ目 ORTHOPTERA

キリギリス科 Tettigoniidae

- ・カヤキリ *Pseudorhynchus japonicus*

上中里 (10月10日 K 1♀)

- ・クビギリス *Euconocephalus varius*

上中里 (10月10日 K 1♂)

- ・ホシササキリ *Conocephalus maculatus*

南部道路 (10月9日 N 1 ex.)

ツユムシ科 Phaneropteridae

- ・ツユムシ *Phaneroptera falcata*

南部道路 (10月9日 N 1 ex.)

ヒバリモドキ科 Trigonidiidae

- ・シバスズ *Pteronemobius mikado*

南部道路 (10月9日 N 1♂ 1♀)

オンブバッタ科 Pyrgomorphidae

- ・オンブバッタ *Atractomorpha lata*

塩手鼻 (10月9日 K 1♂ 2♀, N 1♂ 1♀)

バッタ科 Acrididae

- ・マダラバッタ *Aiolopus thalassius*

塩手鼻 (10月9日 K 1 ♀), 片泊 (10月10日 K 1 ♀)

- ・トノサマバッタ *Locusta migratoria*
南部道路 (10月9日 N 1 ex.)

ナナフシ目 PHASMATODEA

(科の和名無し) Heteronemiidae

- ・タイワントビナナフシ *Sipyloidea sipylus*
上中里 (10月10日 K 1 ex.)

ヨコバイ目 HOMOPTERA

セミ科 Cicadidae

- ・クロイワツクツク *Meimuna kroiwae*
大里～中里で少数鳴き声あり (N)。

カメムシ目 HETEROPTERA

ナガカメムシ科 Lygaeidae

- ・ヒメジュウジナガカメムシ
Tropidothorax belogolowi
塩手鼻 (10月9日 K 1 ex.)

ヘリカメムシ科 Coreidae

- ・ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*
片泊 (10月10日 K 1 ex.)
- ・ヒゲナガヘリカメムシ *Notobitus meleagris*
大里 (10月10日 N 1 ex.), 上中里 (10月10日 K 1 ex.)

カメムシ科 Pentatomidae

- ・シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis*
塩手鼻 (10月9日 K 1 ex.)

甲虫目 COLEOPTERA

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

- ・チビゲンゴロウ *Guignotus japonicus*
中里林道 (10月10日 N 1 ex.)
中里林道沿いの湿地で得られた。
- ・リュウキュウセスジゲンゴロウ
Copelatus andamanicus
中里林道 (10月10日 N 4 ♂ 4 ♀)
中里林道沿いの湿地で前種とともに得られた。

コガネムシ科 Scarabaeidae

- ・アオヒメハナムグリ
(=オキナワコアオハナムグリ) *Gametis forticula*
塩手鼻 (10月9日 K 5 ♂ 9 ♀, N 4 exs.)



ボタンボウフウに訪花するアオヒメハナムグリと
アカアシハラナガツチバチ

塩手鼻付近では道路脇のボタンボウフウに多数訪花していた。

従来オキナワコアオハナムグリとして報告していたが, ここでは酒井 (2007) に従いアオヒメハナムグリの和名を採用する。

タマムシ科 Buprestidae

- ・アヤムネスジタマムシ *Chrysodema lewisii*
上中里 (10月10日 M 1 ex.)

オオハナノミ科 Rhipiphoridae

- ・ムモンオオハナノミ *Macrosiagon nasutum*
片泊 (10月10日 N 1 ex.)

カミキリムシ科 Cerambycidae

- ・サビアヤカミキリ *Abryna obscura*
片泊 (10月10日 N 1 ex.)
- ・ヨツスジトラカミキリ
Chlorophorus quinquefasciatus
塩手鼻 (10月9日 K 1 ex.)

ハムシ科 Chrysomelidae

- ・ウリハムシ *Aulacophora femoralis*
大里 (10月10日 N 1 ex.)

ミツギリゾウムシ科 Brentidae

- ・ミツギリゾウムシ *Baryrhynchus poweri*
上中里 (10月10日 M 2 ♂ 1 ♀)

ハチ目 HYMENOPTERA

ミフシハバチ科 Argidae

- ・ルリチュウレンジ *Arge similis*
塩手鼻 (10月9日 K 3 exs.), 大里 (10月10日 N 1 ex.)

ドロバチ科 Eumenidae

- ・オオフタオビドロバチ
Anterhynchium flavomarginatum
大里 (10月10日 K 1 ex.), 片泊 (10月10日 K 1 ex.)

ツチバチ科 Scoliidae

- ・アカスジツチバチ *Scolia fascinata*
大里 (10月10日 K 2 exs.)
- ・アカアシハラナガツチバチ
Megacampsomeris mojiensis
塩手鼻 (10月9日 K 3 ♂ 4 ♀)

スズメバチ科 Vespidae

- ・キアシナガバチ *Polistes rothneyi*
大里 (10月10日 N 1 ♂)

コシブトハナバチ科 Anthophoridae

- ・スジボソフトハナバチ *Amegilla florea*
塩手鼻 (10月9日 K 1 ex.), 片泊 (10月10日 K 1 ex.)
- ・キムネクマバチ *Xylocopa appendiculata*
片泊 (10月10日 N 1 ♀)

4 考察

1) タイワンツバメシジミ

三島村におけるタイワンツバメシジミの記録は少ない。黒島では畑田 (1987) により1986年4 ♂ 1 ♀が記録され、竹島で藤田 (2006) により2005年3 ♂



林道沿いに見られるシバハギとススキの混じった群落

1 ♀が記録されているのみである。

タイワンツバメシジミは環境省および鹿児島県のレッドデータブックで絶滅危惧I類に指定されており、全国的に減少が懸念されている種類である。そこで黒島における現在の状況を確認するために、今回重点的に観察した。

結果は全く発見できなかった。食草であるシバハギの大きな群落と、幼虫が越冬し蛹になるまで休眠するであろうススキなどの避難所も隣接している、生息環境としては有望であると思われる場所が島内に広く存在していた。しかし、注意深く探してもタイワンツバメシジミが飛び出すことは無かった。



島を一周する道路沿いにはシバハギが多い

食草であるシバハギは林道や荒地など明るい場所に多く、植物の遷移によって環境が変化するとその場所からは消えていく種類である。したがってシバハギに依存しているタイワンツバメシジミも、新しい環境に向けて移動する性質をもっていると思われる。秋に花を付けるシバハギは、夏場に草刈りなどが行われると花を咲かせられない場合がある。ある群落が花を付けられなかったとしても、タイワンツバメシジミが移動できる範囲内に別な群落があれば、個体群は生き残ることができる。しかし周囲を海で囲まれた離島の場合、その移動範囲が制限されており、島内のシバハギに広範囲にわたって草刈りなどの悪影響が現れた際には、絶滅する可能性が高い。四国や九州本土でタイワンツバメシジミが減少しているのも、この移動範囲内にシバハギ群落が無くなったことが大きな原因と考えられている。

2) ヒメシルビアシジミ

ヒメシルビアシジミはトカラ列島口之島で2009年(中峯ら, 2010) および2010年(本誌別稿)に記録



マメ科植物が生える荒地地

されており、屋久島では2008年および2009年に記録されている（久保田，2010）。そこで今までの記録より北側に位置する黒島でも発生していないか，注意して探索した。

食草はヤハズソウなどのマメ科植物で，明るいひらけた環境に生える。黒島にもそのような環境はあり，期待されたが，結果として本種は得られなかった。

屋久島でも2010年は見られなくなり（久保田，2011），迷蝶として飛来していた可能性が高いという。黒島にはまだ飛来していないか，飛来した後に

消失したと思われる。今後侵入があるのか，その後定着することがあるのか，黒島に限らず北琉球地域では注意深く観察していきたい。

引用・参考文献

- 藤田清和（2006）鹿児島県竹島でタイワンツバメシジミを採集. 蝶研フィールド238：54.
- 畑田健治（1987）黒島の昆虫相（第1報）. 鹿児島県立博物館研究報告書6：9-12.
- 井上寛（1982）スカシバガ科. 日本産蛾類大図鑑，1：234-238.
- 久保田義則（2010）2009年屋久島における迷蝶記録. SATSUMA143：1-10.
- 久保田義則（2011）2010年屋久島における迷蝶記録. SATSUMA146：131-135.
- 中峯浩司・守山泰司（2010）2009年秋トカラ列島口之島・諏訪之瀬島・宝島の蝶類. 鹿児島県立博物館研究報告書29：55-64.
- 酒井香（2007）アオヒメハナムグリ. 日本産コガネムシ上科図説(2)：103.
- 屋富祖・金城・林・小濱・佐々木・木村・河村（2002）増補改訂琉球列島産昆虫目録，570pp. 沖縄生物学会，沖縄県.